

7月22日  
～24日

## 中体連 県大会で3位（剣道部男子、野球部）

～広野旋風巻き起こす～



▲県大会3位 東北大会出場を果たした広野中剣道部男子

第50回福島県中学校体育大会が7月22日～24日の3日間の日程で開催され、広野中学校剣道部男子（相双地区1位）と野球部（相双地区2位）の両部が3位という素晴らしい成績を収めました。

剣道は、いわき総合体育館を会場に開催されました。剣道部男子は予選リーグを1位で突破し、準々決勝で安積中（県中代表）に勝利し東北大会出場を決めました。その後、準決勝で棚倉中（県南代表）に惜敗。東北大会では1勝1敗で残念ながら予選敗退となってしまいました。



▲県大会3位 広野中野球部

野球は、ほばら大泉球場他3会場で開催されました。野球部（相双地区2位）は1回戦を塩川中（会津地区2位）に8対0と大勝し、準々決勝は北信中（県北地区1位）に4対3と息詰まる熱戦の末に勝利し準決勝へとコマを進めました。準決勝は内郷一中（いわき地区1位）と対戦し5対6と善戦むなしく敗退し東北大会の道は閉ざされてしまいました。

8月24日(金)



▲地蔵さまに祈る地区の人たち

## 下北迫地蔵講

下北迫地区の人たちが、林蔵寺の住職さんを招き地蔵講を行いました。住職さんの読経の後、「南無阿弥陀仏、ご祈祷念仏」を掛け合いながら唱え、数珠繰りをしました。

下北迫の地蔵さまは、天明の大飢饉の時に亡くなられた人々の供養のために造立され、子育ての祈願や亡くなった子どもの冥福を祈る親達がお参りに来るそうです。また、お地蔵さまの台座前の小石で「イボ」をさすると治るといわれていることから「イボ取り地蔵」さまとも呼ばれています。

参考文献 広野町史 民俗・自然編 P.601

8月19日~24日



▲開会式に臨む選手たち

歓迎のあいさつをする山田町長▶

## 第38回全国中学校サッカー大会

～みちのくの 緑に映える 華になれ!～

全国中学校体育大会・第38回全国中学校サッカー大会が19日に開幕しました。20日～24日まで各地方の代表チーム（北は北海道、南は沖縄）32チームが熱戦を繰り広げました。

初日に行われた開会式では山田町長が祝辞を述べ選手を歓迎しました。



大会は24日（金）にJヴィレッジスタジアムで決勝が行われ、日章学園中学校（宮崎県）が青森山田中学校（青森県）を2対0で破り、見事2連覇を成し遂げました。

8月19日（日）



▲岩の陰をのぞいてアユを探す子どもたち

## アユつかみ大会

築地ヶ丘公園で、子供会育成会連絡協議会 主催によるアユつかみ大会が開催され、町内子供会18団体 約150人の子供たちがアユのつかみ取りに参加しました。

子供育成会連絡協議会 遠藤智 会長のあいさつの後、木戸川漁業協同組合から運ばれたアユ20kgが保護者たちの手で公園内の水路に放流されました。

子供たちは始まりの合図があると、一斉に足を入れてアユを追いかけていました。上手に何匹もすくい上げる子やなかなかつかめないで苦戦する子などいましたが、参加した子供たち全員が楽しんでいました。

7月28日（土）



▲真剣な表情で野菜を切る参加者

## お父さんのための料理教室

健康づくりの基本は正しい食生活であり、男性にも健康で自立した食生活を身につけてもらおうと広野町食生活改善推進協議会のメンバーが先生となり、男性を対象に二ツ沼総合公園内フラワーパーク実習室にて料理教室が開催されました。

メニューは蒸し鶏と夏野菜のごまだれ、なすとイカの甘辛煮、三つ葉のかきたま汁、みかんジャム入りヨーグルトと旬の食材を利用したものとなりました。

参加者は真剣ながらも、先生の親切丁寧な指導に和気あいあいと料理を楽しんでいました。